

ボランティアコーディネーター養成講座実施報告

- ① 実施日： 2月22日（土）10：00～
- ② 実施時間： 10：00～15：00
- ③ 実施場所： 湘南大庭市民センター
- ④ 受講者： 11名（入門編 8名、初級編 3名）
- ⑤ スタッフ： 小林、今泉、鈴木、柳澤他 大庭スタッフ6名



【振り返り】

① コーディネーター役として感じたこと（被災者相談窓口）

- ✚ 経験がないので、想像でしかやれないので不安があります。毎年受講したいです。
- ✚ 被災した側の立場に立って、心情を推しはかって聞き取ることが大事だと感じた。
- ✚ 相手の立場にならないと本当に聞き取るべき項目も思い浮かばない。
- ✚ 被災者が必要としていることを聞き出すことが大切であり、難しいと感じた。
- ✚ 依頼者から必要な情報が何か、どこまで聞けるか。他部署との共有化を発災時にできるか気になった。（全てのインフラがSTOP時）
- ✚ 依頼者の依頼内容を具体的に聞き、文章化するのはなかなか大変で、集中を要することを痛感した。
- ✚ 作業内容の理解不足でイメージが湧かないと、力仕事、危険性、スキル、経験の要否等正しく記述できないのではと不安に思った。男女別に人数を分けて記入することの必要性が分からなかった。ボランティア経験が自身にないためだろうか。
- ✚ 相談者の必要な事をいかに上手に聞き出してゆくか、傾聴の難しさを感じた。

② ボランティア役として感じたこと

- ✦ 求められるニーズと自分自身の対応のマッチングの難しさ。
- ✦ 2回反復して下さったことは、理解する事に変役立ったと思う。
- ✦ 派遣先までの移動のこと、ケガした場合など今日のシミュレーションでは分からないことも多かったが、断片的にボランティアがどのようにマッチングして派遣されるのか理解できた。
- ✦ 身分証明の確認を行う必要があるのではないか。地図を渡されて、ボランティアだけで現地に行けるのか。送迎バス？ コーディネーター無しで、作業がうまく回るのか等心配な点があった。
- ✦ 受け入れ側がまごついていると不安になると感じた。

③ スタッフの対応などで感じたこと

- ✦ 受け入れ側の訓練不足を感じた。
- ✦ 長い間活動を続けていただきご苦労様です。新しい人材を入れるのが課題ではないか。
- ✦ 皆さま自主防災の意識が高く、頭がさがります。
- ✦ 情報の共有化が不足していると感じた。

④ このシミュレーションを通じて、今後どんなシミュレーションにしたら良いか、どんなことをしたいか。

- ✦ 実際に発生した具体例を体感できるシミュレーションをやるともっと活かせると思う。
- ✦ 繰り返し訓練することで、活動を身に着けることが必要だと思った。
- ✦ 初めての講座・体験なので本日から人数でやるのはいいと思いますが、もう少し大きな規模での訓練もやってみたいと思います。
- ✦ 犯罪目的で来所した者を、どうあはじくかのシミュレーションも必要では。

⑤ その他

- ✦ 様式 3 2 1～3 2 3をノーカーボンで1セットにする。またA、B、Cと大きく表示する（1組）
- ✦ ボランティアとして助けを求めている人の話を聞き取る練習も必要かと思う。